

分野⑥その他

琴ノ浦まちおこしの会 (小泉八雲ゆかりの「旧中井旅館」の活用による地域活性化)

<概要>

住 所 東伯郡琴浦町保
代表者 桑本 賢治
事務局長 松岡 義雄
構 成 員 会員 60 名
(参考)

八橋地区の概要 (平成 22 年国勢調査)

- ・人 口 4,115 人
- ・世 帯 数 1,396 戸
- ・高齢化率 19.9%



<取組の概要>

- ・琴浦海岸の歴史、文化、自然の魅力を多くの人に伝え、観光資源の活用を図り、地域振興に寄与する事業を行うことを目的として活動を行っている。
- ・全国的に著名な小泉八雲・セツ夫人が新婚旅行を兼ねて琴浦町を訪れ宿泊されたとされる「旧中井旅館」を活用したまちおこしを行っている。
- ・琴浦町の名所をめぐる「鳥取中部へるんツアー」は平成 24 年で第 6 回目を行う。このツアーでは、「旧中井旅館」を中心とした小泉八雲にゆかりのある地域を訪れていたが、平成 23 年ごろから着地型観光の取組みとして、琴浦町内の新旧の名所を訪ねたり、琴浦町のものを食べたり買ってもらえるような内容になっている。
- ・平成 22 年度、「琴ノ浦歴史街道」が国土交通省中国地方整備局などが実施する「夢街道ルネサンス」に認定。

平成 24 年 7 月 31 日
日本海新聞掲載
八橋散策コースを紹介

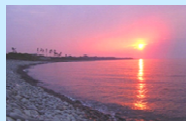


<取材MEMO (1) >

○取組に至る背景・経緯・目的

- ・平成 19 年 5 月に琴ノ浦まちおこしの会を設立。赤碕から逢東の海岸が以前「琴ノ浦」と呼ばれていたことから、会の名称を「琴ノ浦まちおこしの会」とした。
- ・「小泉八雲も絶賛したわが町の宝を磨こう」との思いが会発足の動機。小泉八雲ゆかりの旧中井旅館を活動の拠点とするため改修し、小泉八雲の曾孫に当たる「小泉凡氏」の講演を開催し、活動を開始した。

鳥取中部へるんツアー案内



鳴り石の浜
花見海岸



約 2 ha におよぶ自然発生基地
八雲が驚嘆した花見潟墓地



分野⑥その他

琴ノ浦まちおこしの会

<取材MEMO (2) >

○取組に工夫・苦勞した点

- ・参加者を一般から募集して、へるんツアーを開催し平成 24 年で 6 回目になる。伯耆・因幡地方の八雲ゆかりの地巡り、盆踊りの競演会と明かりの灯った花見潟墓地の見学を企画。八雲の作品の原点になった松江の地を訪問するなど八雲の魅力を沢山のの人に伝え、地域振興につなげている。



桑本 賢治 会長 (左) と松岡 義雄 事務局長 (右)

<代表者から一言>

着地型観光に力を入れ、船上山や白鳳の郷、あじさい公園、光の鍔絵、神崎神社、鳴り石の浜、大山乳業など町内にある宝を、もっと知ってもらえるよう工夫したい。

また、四季の食材を提供しリピーター率の高いツアーにし、町内外から多くの方に来てもらい琴浦町の歴史や自然、食を楽しんでもらいたい。

○取組の成果

- ・島根短期大学の学生が、年に一度訪れ、琴浦町内の各所を巡るなど、地域外の訪問者も徐々に増えている。
- ・イベントに工夫を凝らし、新鮮な企画を用意するたびに琴浦町を訪れてもらえるようになった。
- ・平成 24 年 5 月、鳥取県地域づくりセンター主催の鳥取県地域づくり大賞「奨励賞」を受賞。



神崎神社



八雲とセツが宿をとった
旧中井旅館



貞享 5 年建築の民家・河本家
国の重要文化財・県民の建物百選



八雲・セツ来訪記念碑

<取材MEMO (3) >

○今後の取組内容・長期的な目標

- ・町内の観光資源を掘り起こし、磨きをかけて全国に発信し、子どもたちが誇りを持てる魅力ある町づくりを目指し活動に取り組んでいきたい。
- ・小泉八雲ゆかりのグループと連携を取り合いながら小泉八雲を題材に人と人のつながりを深めることを目標としている。

取材を行っての感想など一言コメント

琴浦町内に残る文豪・小泉八雲とその妻セツとの足跡をたどるツアーや、琴浦町内の名所などを巡り琴浦町の宝を参加者に PR するなど積極的に取り組んでおられます。まだツアーに参加したことのない方はぜひ参加し、改めて琴浦の魅力を再発見していただきたいと思います。

市町村役場の連絡先

〒 689-2392 鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万 591-2 琴浦町 企画情報課
電話：0858-52-1708 ファクシミリ：0858-49-0000